推進方策

■取り組みの体系

① 須坂市の新エネルギー行政の方向性の決定
- ●地域資源・新エネルギー技術・社会情勢等の基礎調査
- ●基本方針、環境保全・改善の目標設定

地域新エネルギービジョンの策定

② 市民・事業者・行政による普及啓発の取り組み
- ●公共施設への導入
- ●新エネルギーシステムの技術開発、実用化に向けた取り組み
- ●省エネルギーと一体となった活動

重点プロジェクトの実施

新エネルギー技術に関する情報収集
市民・事業者への各種情報発信

新エネルギーの普及した地域社会の実現

■既に始まっている新エネルギーへの取り組み 紹介

●市の取り組み

平成９年から公共施設へ太陽光発電の導入

公共施設への太陽光発電等設置事業

	施設	発電量(kw)
平成　９年	湯っ蔵んど	3.2
平成１０年	くつろぎ荘	20
平成１２年	総合情報センター	10
平成１４年	東中学校体育館	5
平成１５年	旭ヶ丘小学校校舎	5
平成１６年	高甫小学校体育館	3
平成１６年	市役所ペレットストーブ	1(台)
平成１８年	墨坂中学校体育館	3
平成１８年	市民体育館ペレットストーブ	1(台)

平成13年度～15年度まで101軒の民間住宅へ太陽光発電システムの導入支援　（須坂市太陽光発電助成事業）

●市民の取り組み

須坂市内で平成16年までに太陽光発電を導入されたご家庭は、のべ192軒にものぼっています。

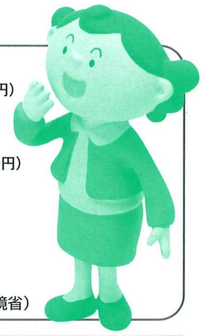
また、NPO法人「須坂エコライフネットワーク」が設立され、平成16年3月から廃食油の再利用や菜の花プロジェクトの展開など化石燃料の代替え燃料の普及に取り組んでいます。

■「コマメにずく出そう」省エネルギーへの取り組み 紹介

●地球温暖化防止に有効な省エネ活動です。一人ひとりができることから始めましょう。

みんなでできる10のコマメ（一世帯当たりの年間削減効果:CO2／経費）

- ●お風呂の残り湯を「コマメ」に洗濯に使おう(17kg／5,000円)
- ●冷暖房は「コマメ」に1℃控えよう(31kg／2,000円)
- ●主電源を切って「コマメ」に節約(87kg／6,000円)
- ●テレビは見たい番組だけ選んで「コマメ」に節電(13kg／1,000円)
- ●「コマメ」に買い物袋を持ち歩こう(58kg／一円)
- ●夜中のジャーの保温を「コマメ」に止めよう(31kg／2,000円)
- ●シャワーを1日1分「コマメ」に節水(65kg／4,000円)
- ●「コマメ」に1日5分間アイドリングストップ(39kg／2,000円)
- ●車の運転をひかえて「コマメ」にバスや自転車を利用しよう(185kg／8,000円)
- ●家族同じ部屋で団らんして「コマメ」に節約しよう(240kg／11,000円)



（出典:環境省）

問い合わせ先　須坂市　総務部 政策推進課　TEL 026-245-1400(代)
E-mail　seisakusuishin@city.suzaka.nagano.jp

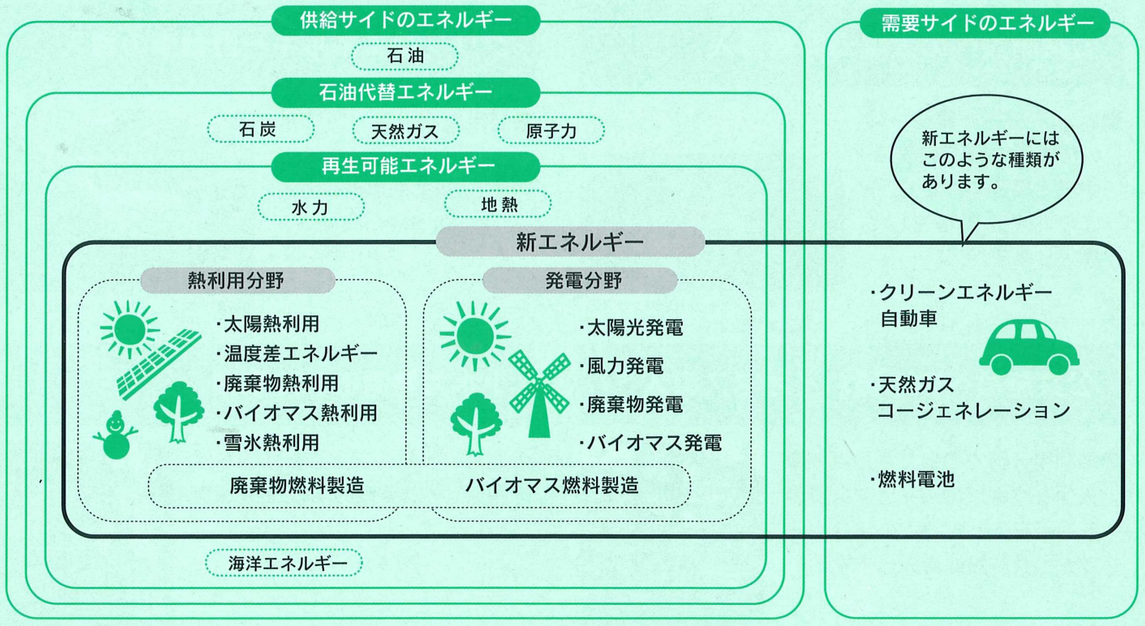
須坂市 地域新エネルギービジョン

概要版

地球環境時代の世界市民をめざして
～ すざか からの提言 ～

新エネルギーとは

- ◆ 太陽や風などの自然の力や今まで使われていなかった資源を活用して、電気・熱・燃料などを作り出すことができるエネルギーです。
- ◆ 石油などの化石燃料と比べ温室効果ガスの排出を削減できるため、地球温暖化防止に効果があり、自然環境にやさしいエネルギーです。



【新エネルギーの定義】「石油代替エネルギーの導入を図るために特に必要なもの」
「技術的に実用化段階に達しつつあるが、経済性の面での制約から普及が十分でないもの」

ビジョン策定の背景

■**「エネルギー問題」**…近年の利便性を優先した日常生活は、大量のエネルギーを消費しています。しかし、世界のエネルギー資源（石油・石炭等）には限りがあるため、節約しながら大事に使うとともに、その代わりとなるエネルギーを考えなければなりません。

■**「環境問題」**…エネルギー消費によって温室効果ガスが増加し、地球全体の気温上昇や気象に影響を及ぼしているといわれています。京都議定書に基づく削減目標に向け、一人ひとりが環境に負荷をかけない行動をする必要があります。

■**「市の環境施策」**…須坂市は、総合計画の中で「地球環境時代に適応した環境都市の形成」をまちづくりの指針として掲げ、環境基本計画では「いのち育むふるさと、環境への思いやりあふれるまち」をめざすべき環境像に定め、自然環境の保全に取り組んでいます。

　このような背景を踏まえ、市民のみなさまとともに、より一層の新エネルギー導入促進へ取り組む道しるべとして、「須坂市地域新エネルギービジョン」を策定しました。

須坂市の特徴

須坂市の土地は70%が森林で占められ、標高2,000mを超える山々が連なる急峻な山岳地形を形成し、豊かな森林資源や水資源が存在しています。

気候は、市街地部では降雨や積雪が少なく、峰の原高原地区では年平均最深積雪が1mを越える積雪寒冷地となっています。歴史的に、傾斜地の豊かな水資源を利用した水車動力による生糸産業等が盛んな時代もあり、電力会社の発祥の地でもあります。

また、近年は地元企業の参加による「信州須坂ものづくりプロジェクト」でハイブリッド電動アシスト三輪自転車の開発など、新しいものづくりへの取り組みが盛んで、市内には新エネルギー等に関連したNPO法人や企業も存在しています。

重点プロジェクト案

公共施設への太陽光発電導入

●新エネルギー普及啓発のため、小中学校の改修・耐震工事等に併せて、新エネルギーを率先して導入します。

総合情報センターの10kWクラスの太陽光発電設置例　（大字井上）

クリーンエネルギー自動車の導入

●公用車をクリーンエネルギー自動車にすることで、新エネルギーの普及啓発に努めます。

須坂市で導入しているハイブリッド車

公共施設への木質バイオマス導入

●熱利用分野での新エネルギー導入促進や地域のバイオマス資源を活用するため、ペレットストーブを公共施設に導入します。

市役所のペレットストーブ

小水力発電モデル事業

●豊富で水量の安定した水流を活用し、水力発電の実証実験を実施します。

北の沢用水路の流れ

基本方針

“自然との共生と共存”
“天・地・人・歴史の恵み”
を活かし、
誇れる自然環境を次世代に

1 須坂の特性を活かした環境にやさしいくらしづくり

●自然環境の保全と地域資源を活用した新エネルギー導入を推進します。
●環境改善に向けた目標を明らかにします。

2 新エネルギーによるまちづくり

●環境に関連する新産業の創出となるプロジェクトを推進します。
●新エネルギーの積極的な導入によって、環境と産業、観光等が融合したまちとしてのブランド化を創出します。
●須坂のまちづくりの取り組みと連携し、新エネルギー導入推進を図ります。

3 市民・事業者・行政の協働ですすめる新エネルギーの普及

●地球環境の改善とともに、生活改善や地域の活性化などにつながるよう、市民に喜ばれるプロジェクトを推進します。
●新エネルギーの普及に向けて、国や関係団体の公募提案型のモデル事業を積極的に導入します。
●市民、事業者の新エネルギー導入にあたってコーディネイトに努めます。

産・学・官連携による新エネルギーシステムの技術開発、実用化に向けた取り組み

●須坂発の新技術による新エネルギーの普及と、地域産業の振興をめざし、産・学・官の連携支援や、地元企業と環境産業に関する研究を進めます。

例　須坂長野東IC周辺や峰の原高原地区などを想定した分散型エネルギーシステムの検討

省エネルギーと一体となった活動

●環境にやさしく、経済的にも同意が得やすい省エネルギーの取り組みを通じて、温室効果ガスの削減を図るとともに、新エネルギーを含む環境対策への理解を深めます。

例　環境家計簿の実施などわかりやすい省エネルギーの取り組み

市民・事業者と一体になった普及啓発活動

●環境に対する意識の高い市民の行動や、環境に配慮した企業イメージのアピール・新エネルギー関連事業への展開を図る企業の取り組みを支援し、新エネルギーの普及啓発のすそ野を広げます。

例　事業者向けの太陽光発電支援事業の斡旋

●行政だけでなく、市民やNPO法人、事業者が積極的に環境問題に取り組む地域として、新しい産業振興によるにぎわいや豊かな生活環境を国内外に情報発信します。

例　菜の花プロジェクト等、地域に根付いた取り組み